



佐 潟 通 信

2017年3月

59号

◇ 佐潟の冬季のようす I

佐潟は、湧水のため水温の変動が少なく綺麗な砂丘湖として全国的に知られています。多くの野鳥を見ることができる冬は渡り鳥で賑わう季節、ハクチョウ、ヒシクイ、コガモなどが飛来し休んでいました。

今年は酉年で、寒波がはじまった1月から雪景色の潟と冬鳥を見ようと、佐潟水鳥・湿地センターにも多くの方々にご来館いただきました。



1月15日湖面が凍結状態



家族(灰色は幼鳥)

◇ 佐潟のようす II

◎今季最大カウント数は1月3週目の6911羽(コハクチョウ6763+オオハクチョウ148)でした。

◎今年の冬は1月中旬の寒波で、積雪16センチ気温マイナス1℃(平均値)で、潟は雪景色となり、湖面が一部凍結しました。鳥類は、餌場の田んぼが雪で真っ白になったため、餌が食べられる場所へ移動したようです。

◎今期に懸念された高病原性鳥インフルエンザは、佐潟での発生は確認されませんでした。

佐潟へまた来てね



ハクチョウの飛来数



情報提供: 新潟県水鳥湖沼ネットワーク

◇ 佐潟のようすⅢ コウノトリが佐潟を餌場に・・・・

今年も酉年。昨年11月25日頃から佐潟に「幸せを運ぶ鳥」コウノトリが飛来し人気を集めています。

平成28年千葉県野田市で放鳥された2羽のコウノトリのうちの1羽で名前は「きずな」♂。食肉性で、昆虫、小魚、エビなどを餌としています。調査のために足輪とGPSを付けています。ひと目見たいと、毎日多くの市民の皆様が佐潟に足を運んでくれました。観察する際は、あまり近づかないようにお願いします。



◇ 佐潟のようすⅣ



さかたん(佐潟探検隊)

ハクチョウ観察バスツアー 12月4日

さかたんメンバーは、佐潟近隣の田んぼへ行き、ハクチョウが稲の落ち穂を懸命に食べる様子を観察しました。

ファミリーの中で幼鳥の様子が目立っていました。元気よく成長し北へ帰ってほしいと願っています。

◇ 佐潟のようすⅤ

レンズを通して佐潟の自然をゲット



佐潟写真教室が開催

1月22日初心者向け写真教室が開催されました。写真店の店主から、カメラの扱い方や写真の撮り方など基本的講習を受け、その後、屋外で実際に撮影。最後に、撮影した写真について講師からアドバイスをいただきました。



◇ 佐潟のようすⅥ 2月1日

赤塚小学校6年生が佐潟水鳥・湿地センターで「佐潟の未来をえがこう」プレゼン発表会。

佐潟はこれからどうなってほしいか。子ども目線で学習した事をもとに郷土愛に満ちた提案をいただきました。



私の佐潟文化祭 (2月4日～3月10日)

佐潟の自然を愛する方々の写真や詩などを展示しました。昔なつかしい漁業作業の写真や佐潟の四季の風景、今人気のコウノトリなど自信作をご覧ください。



佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】 9:00～16:30 (冬期間11月から2月の土・日は7:00から)
【休館日】 月曜日 (祝休日の場合は翌日)、年末年始 (12月29日～1月3日)



ラムサール条約湿地

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193
佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。